

第56回理事会・第27回社員総会 議決

令和6年度

事業報告書

令和6年4月1日から

令和7年3月31日まで

公益社団法人 北之台雅楽アンサンブル

【基本方針】

- (1) 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催
- (2) 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催
- (3) 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介
- (4) 管理・広報部門の充実（法人活動）

【具体的事業】

1. 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催

① 国内雅楽演奏会

【事業名1：地域における雅楽の振興】

- a. 事業の名称「橘樹官衙遺跡群オープン記念式典雅楽演奏」
- b. 事業の趣旨：本事業は川崎市より依頼を受け、橘樹官衙遺跡群のオープン記念式典に雅楽を演奏し、歴史的遺跡の復元の祝賀と共に地域の方々に雅楽に親しんでいただくことを願いとした。
- c. 日 時：令和6年5月18日（土）開式10時～
- d. 場 所：川崎市史跡公園（国史跡指定）
- e. 対 象：川崎市役所、市議会、工事施行者および一般
- f. 入場料：無料
- g. 内 容：舞楽「賀殿」（四人舞）20分
- h. 参加人員：来賓者72名はじめ、一般見学者 合計約460名
- i. 出向人員：楽人12名、舞人4名、装束師2名、スタッフ2名
(計20名)
- j. 主 催：川崎市教育委員会
- k. 反 響：
 - ・ この事業は、川崎市制100周年記念事業ならびに令和6年度橘樹官衙遺跡群保存活用事業として、橘樹歴史公園のオープン記念式典として開催された。
 - ・ 昨年の立柱式は雨模様での開催で100名ほどの参加者であったが、今回のオープン記念式典は晴天に恵まれ、予想を上回る500名近い関係者、地域の方々の参加があった。
 - ・ はじめに、郡の長官「橘樹郡司」に扮した福田紀彦川崎市長が登壇し、この場所は昔の市役所であり、川崎のルーツとなる場所で、この場所が守られてきたことは大変重要なことであり、今後も大切にしていかなければいけないと挨拶をされた。

- ・ 山下信一郎氏（文化庁文化財監査官）からは、橘樹官衙遺跡群は、地方官衙の成立から廃絶に至るまでの経過をたどることのできる貴重な遺跡で、その成立の背景や構造の変化の過程が分かり、7 世紀から 10 世紀の官衙の実態とその推移を知るうえで重要であるとして、平成 27（2015）年 3 月 10 日に川崎市初の国史跡に指定されたことを述べ、歴史的、文化的にも貴重な遺跡であると挨拶された。
- ・ 第二部は、正倉（税として納められた顕稻（えいとう＝穂首刈りをした稲穂）などを納める倉庫）の完成を祝い、舞楽「賀殿」の演奏が行われた。
- ・ 行事終了後には、井口理事長がインタビューを受け、記念公園のオープンの祝辞を述べられた。
- ・ 式典当日の夕刻には、飛鳥時代の遺跡の復元は全国初でもあり、東京新聞などマスコミ数社により Web 記事が配信された。
- ・ 川崎市担当の小野様からは、「暑い中、本当にありがとうございました。装束を着て暑い中での演奏は本当に大変だったと思います。いつも外での演奏で大変申し訳なく思っています。当日の来場者は 460 名でした。私も第二部までお客様が帰らずに最後までいてくださり、良かったと思いました。晴天の中に舞人が煌めいていました。また、インタビューにもご協力いただきありがとうございました」と御礼が寄せられた。

【事業名 2：地域における雅楽の振興】

- a. 事業の名称「天神社おたち祭 雅楽奉納」
- b. 事業の趣旨：地域の催しに参加し、地元で雅楽の振興を深める機会を増やすことを願いとする。例年実施される地元長者天神社のおたち祭に雅楽をもってお祝いとした。
- c. 日 時：令和 6 年 10 月 31 日（金）
- d. 場 所：いすみ市長者天神社境内
- e. 対 象：一般 合計 150 名（2 回）
- f. 入場料：無料
- g. 内 容：管絃「壺越調音取」「蘭陵王」、舞楽「賀殿急」
演奏時間 30 分 演奏 2 回
- b. 参加人員：楽人 9 名、舞人 2 名、スタッフ 3 名 計 15 名
- h. 主 催：いすみ市長者町地域商工会
- i. 反 響：宮司さんから、「素晴らしい演奏、舞で雅楽を堪能しました。ご参拝の方々にも大変喜んでいただくことが出来ました。来年も演奏をよろしくお願いします」等、多くの方々から好評の声をいただいた。

【事業名 3：京都ヴィラ九条山公演】

- a. 事業の趣旨：在日フランス大使館からフランス政府文化機関の京都ヴィラ九条山を紹介いただき、京都白夜祭行事の一環として実施された同館の一般公開日に合わせ、雅楽を紹介した。同館フランス人アーティスト及び一般への雅楽紹介を通して、日仏文化交流に寄与することを趣旨とした。
- b. 出向期間：令和 6 年 9 月 27 日～29 日（2 泊 3 日）
- c. 公演日：令和 6 年 9 月 28 日（土）14 時半～16 時（90 分）
- d. 場 所：京都ヴィラ九条山（京都市山科区）
- e. 対 象：ヴィラ九条山滞在アーティスト及び一般 約 100 名
- f. 入場料：無料
- g. 内 容：楽器紹介、管絃「越殿楽」「陪臚」、舞楽「賀殿急」、質疑応答
- h. 出向人員：楽人 8 名（安齋省吾先生を含む）、舞人 2 名、
スタッフ 2 名 合計 12 名
- i. 主 催：ヴィラ九条山、アンスティチュ・フランセ
- j. 反 響：
 - ・ 前日には、駐日フランス大使、京都総領事が臨席のもと、ニュイブランシュ 2024KYOTO オープニング式典が関西日仏学館（京都市内）で行われ、井口理事長夫妻が招待を受けた。
 - ・ 本公演冒頭、フレモル館長より、由緒あるヴィラ九条山にて雅楽紹介が実現出来たことに謝意が述べられた。
 - ・ 横田元在ベルギー日本大使夫妻、ヴィラ九条山初代館長ワッセルマン・ミッシェル名誉教授（立命館大学）のご臨席をいただいた。
 - ・ 主な感想：ヴィラ九条山館長のアデル・フレモル女史は、雅楽の音色、舞楽装束の美しさを称賛され、歴史ある雅楽を同館にて実現できたことに感謝された。初代館長で日本文化を研究されているミッシェル・ワッセルマン立命館大学名誉教授、また「何故か涙が出るのを押さえられなかった」という同館のフランス人スタッフなど、多くの参加者から感動の声をいただいた。

【事業名 4：源氏物語をあそぶ展覧会～雅楽演奏会】

- a. 事業の趣旨：古美術界で由緒ある京都美術倶楽部より招聘を受け、源氏物語に因んだ展覧会に際し、源氏物語に描かれた「青海波」を演奏することで、参加者に源氏物語をより親しんでいただくことを趣旨とした。
- b. 出向期間：令和 6 年 10 月 11 日～13 日（2 泊 3 日）
- c. 日 時：令和 6 年 10 月 12 日、13 日各 11 時より
- d. 場 所：京都美術倶楽部 3 階和室

- e. 対 象：一般 約 150 名
- f. 内 容：舞楽「青海波」
- g. 出向人員：楽人 5 名、舞人 2 名 計 7 名
- h. 主 催：梶古美術（京都美術倶楽部所属）
- i. 反 響：
 - ・「源氏物語」の写本など多くの価値ある美術品が展示された中で雅楽演奏を実施し、参加者より好評だった。
 - ・ご紹介いただいた香道指導者の月原先生から「青海波の舞を間近で見させていただき、その迫力を感じました。また演奏の音がドンと体の中に入ってきて、とても気分がよかったです。参加されていた皆さんも、とても喜ばれていました。」と感想をいただいた
 - ・主催者の梶夫人からは、「舞楽・青海波によって会の格を上げていただけたと思う。」福嶋昭治教授からは「舞人の体幹はすごいと思う。舞人が首を傾げる仕草など、光源氏が舞う姿を想像するとどんなに素敵だったかと思う。」など、多くの好評をいただいた。

② 雅楽に関する講演会

【事業名 1：禅語を学ぶ会 20 周年記念行事雅楽研修】

- a. 事業の趣旨：福山市禅語を学ぶ会 20 周年記念事業に合わせて、参加者の方々に、日本の伝統芸能である雅楽の理解を深めていただく研修を実施した。
- b. 日 時：令和 6 年 5 月 11 日（土）11：30～12：00～
- c. 場 所：楽只亭（広島県福山市）
- d. 内 容：楽器紹介、管絃「平調音取」「越殿楽」「陪臚」、朗詠「嘉辰」
- e. 対 象：会員及び関係者 約 20 名
- f. 主 催：禅語を学ぶ会
- g. 出向人員：楽人 5 名、スタッフ 1 名（計 6 名）
- h. 反 響：
 - ・当日は講師である臨済宗妙心寺前宗務総長であり、妙心寺派大雄山正法寺・栗原正雄ご住職や広島県立福山歴史博物館元館長で、現在は県内の教育機関等で日本の様々な文化を紹介している「文化力を繋ぐ会」の皿田雄三会長をはじめ、福山市内の有識者や会員約 20 名が参加された。
 - ・記念行事の最初は、今回の研修を直接ご依頼いただいた、志野流香道指導者・月原光子先生による香道の御手前から開始され、続いて禅語を学ぶ会会員の方による茶道の御手前が行われた。その後、当アンサンブルによる雅楽の演奏が実施された。

- ・ 月原先生からは「初めて間近で雅楽を鑑賞させていただき、身体中の血液が全細胞を駆け廻り、心身共に感動いたしました。ご参列の方々も大変お喜びでございました。あのような研修をさせて戴き心より感謝申し上げます」また「これほど目の前で雅楽の演奏を聴ける機会はなかなか無い」と感想をいただいた。

会員の方々より雅楽に関する質問や当アンサンブルの活動について多くの質問を頂き、有意義な交流となった。

【事業名 2：第 16 回「雅楽と国際文化交流」】

- a. 事業の趣旨：定例行事である「雅楽と国際文化交流」では、第 16 回として、約 30 年間元産経新聞パリ支局長として尽力され、フランス政府よりその業績を高く評価され栄えあるレジョンドヌール勲章を叙勲された山口昌子氏を招待して講演をいただいた。本事業を通し、日仏両国の相互理解、友好親善のさらなる促進に寄与することを趣旨とした。
- b. 日 時：令和 6 年 12 月 1 日（日）14 時半開演、17 時 10 分終了
- c. 場 所：紀尾井小ホール（東京都千代田区）
- d. 対 象：188 名（招待者 45 名、チケット購入者 143 名）
- e. 入場料：前売り 2,500 円、当日 3,000 円
- f. 内 容：
 - 第一部 講演 講師：山口昌子、元産経新聞パリ支局長
仏レジョンドヌール勲章オフィシエ受章
テーマ：パリ五輪に見るグローバル化時代のフランス
 - 第二部 雅楽演奏
特別出演：安齋省吾、元宮内庁楽部首席楽長
大窪貞夫、重要無形文化財保持者
久恒壮太郎、重要無形文化財保持者
演目：管絃「盤渉調音取」「千秋楽」「蘇莫者破」
「越殿楽」
舞楽「賀殿」
司会：ひなたおさむ
- g. 参加人員：楽人 16 名（宮内庁楽師含む）、舞人 4 名、スタッフ 10 名
計 30 名
- h. 主 催：公益社団法人北之台雅楽アンサンブル
- i. 後 援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ
- j. 反 響：
 - ・ 今回は、フランス政府より名誉あるレジョンドヌール勲章オフィシエを受章されたジャーナリスト山口昌子氏を講師としてお招

きし、在日フランス大使館の後援をいただくことが出来、日仏両国の友好親善に貢献することが出来た。

- ・ 山口昌子氏が「パリ五輪に見るグローバル化時代のフランス」と題して講演。多方面にわたってフランスらしさが見られた独創的なパリ五輪だったが、国際紛争、移民・人種問題、宗教対立を抱える中でも、フランスの「国のかたち」が維持され、世界平和への強いメッセージが込められた五輪であったと氏は強調した。参加者からは、ジャーナリストらしい鋭い分析力に感銘した、日本ではわからない背景がよく理解できたなど、多くの好評が寄せられた。
- ・ 第二部は、元宮内庁楽部首席楽長の安齋省吾先生、宮内庁現役楽師（重要無形文化財保持者）の大窪貞夫先生、久恒壮太郎先生に特別出演いただき雅楽を演奏。管絃、舞楽とも力強い演奏に迫りを感じた、それぞれの楽器の調和がとれて、美しい旋律に魅了された等、初めて雅楽に触れた観客はじめ多くの方々から異口同音に称賛の声が寄せられた。

2. 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催

① 海外雅楽公演及びそれに伴う事業

【事業名 1：日本の春祭り舞楽演奏（コッティングブルン城）】

- a. 事業の趣旨： 喫日協会より、中世の古城として由緒あるコッティングブルン城（ウィーンから約 40km）で開催された「日本の春祭り」に招待され舞楽を紹介した。日本オーストリア両国の友好親善に寄与することを願いとした。
- b. 渡航期間： 令和 6 年 4 月 5 日～10 日（4 泊 6 日）
- c. 渡航先： オーストリア
- d. 渡航人数： 2 名
- e. 内 容：
 - ① 日時： 4 月 7 日（日）14 時～
 - ② 場所： コッティングブルン城ホール（ウィーン郊外）
 - ③ 行事名： ウィーン日本の春祭り
 - ④ 参加者： 一般約 300 名、在喫日本大使、下オーストリア州知事
他来賓者多数。
 - ⑤ 入場料： 無料
 - ⑥ 演目： 舞楽「陵王」（音源 CD）
 - ⑦ 主催： 喫日協会、コッティングブルン市

f. 反 響：

- ・ 千数百年の歴史ある日本の伝統芸術である雅楽に触れることが出来、多くの参加者から賞賛の声をいただいた。
- ・ 舞楽以外に、生田流正派、ウィーン在住の日本人音楽家角田氏によるビオラダガンバの演奏、日本の歌曲（ピアノと歌唱）、日本舞踊、居合道、空手などを上演。城内では、折り紙、書道、マンガの体験プログラム、茶道のデモンストレーションと生け花の展示会、日本食のコーナーを設置し盛況であった。
- ・ 舞楽終了後、井口理事長によるお点前が披露され、副理事長は、お呈茶を協力され、和やかな雰囲気の中、来場者と交流を深めることが出来た。
- ・ 日唄周年事業の際に、雅楽紹介に多大なご協力をいただき、長年日唄文化交流にご尽力されているブランドル唄日協会会長ご夫妻のご好意により、ご自宅での宿泊と食事の提供、空港や会場間の移動等にもご協力いただき、親交を一層深めることが出来た。

【事業名 2：ボストン日本協会ガラ/ボストン日本祭り舞楽演奏】

- a. 事業の趣旨：ボストン日本協会 120 周年のガラ・オープニング及びボストン日本祭りにおいて舞楽を披露し、日米両国の相互理解をより一層深めることを趣旨とする。
- b. 渡航期間：令和 6 年 4 月 15 日～5 月 4 日（18 泊 20 日）
- c. 渡航先：米国
- d. 渡航人数：3 名
- e. 内 容：
 《ボストン日本協会創立 120 周年・ボストン京都姉妹都市 65 周年祝典記念ガラ・オープニング》
 - ① 日 時：4 月 16 日（火）18 時半開演
 - ② 場 所：フェアモント・コプリー・プラザ・ボストン
 - ③ 行事名：「ボストン日本協会創立 120 周年・ボストン京都姉妹都市 65 周年祝典記念オープニング GALA コンサート舞楽演奏」
 - ④ 参加者：ボストン及び京都市の名士約 250 名が参加。
ノーベル生理学・医学賞を受賞された山中伸弥京都大学 IPS 細胞研究所名誉所長、畑正高・京都正栄堂社長等がご出席。
 - ⑤ 演 目：龍笛独奏、舞楽「青海波」（音源 CD）
 - ⑥ 主 催：ボストン日本協会
 - ⑦ 反 響：

- ・ とても素晴らしい公演でした。ありがとうございました。
(ウィリアム・ハント会長)
- ・ ボストン日本協会の名誉会長、理事の皆様が大変感動され、
どうやってこのような楽団を日本から来ていただいたの
か皆さん驚きでした。(高柳理事)
- ・ ガラに同席したボストン日本協会のインターンの方々と
の交流が出来た。将来日本の伝統芸能の研究で博士号取得
を目指すボストン大学のクリス氏、京都でお茶の栽培から
製茶まで経験されたマリエ・ロマノ夫妻等。

《ハーバード大学音楽部雅楽ゼミ》

- ① 日 時：4月18日
- ② 場 所：ハーバード大学音楽部（同大学リアム・ハインズ多和教授による雅楽セミナーに参加）
- ③ 対 象：聴講生20名。教授による講義（1時間）のあと、雅楽を紹介（1時間）
- ④ 内 容：舞楽「青海波」及び笙と龍笛の演奏。アンサンブルの活動、装束、楽器(龍笛、笙)、楽譜、伝承法(唱歌)等の紹介、質疑応答
- ⑤ 協力者：多和わ子教授（アムハースト大学アジア言語学科）、
リアム・ハインズ多和教授（ハーバード大学音楽部）他
- ⑥ 反 響：
 - ・ ハーバード大学音楽部の学生や同僚にとって素晴らしい体験でした。心から御礼申し上げます。(リアム・ハインズ多和教授)
 - ・ ケンブリッジ大学院で美術史を学びましたが、昨年は日本で能の体験研修に参加し、靖国神社で夜桜能を鑑賞しました。本日の雅楽鑑賞も大変素晴らしかったです。(ジェイン・ウイルソン氏)

《ボストン日本まつり》

- ① 日 時：4月27日（土）
- ② 場 所：ボストン・コモン公園
- ③ 行事名：ボストン日本まつり
- ④ 参加者：一般300名
- ⑤ 演 目：龍笛独奏、舞楽「青海波」（音源CD）
- ⑥ 現地受入れ機関：ボストン日本祭り実行委員会、米国サンボー5
財団

⑦ 反 響・成果：

- ・ 2012 年桜寄贈百周年を機に始まったボストン日本祭りがコロナ禍を経て 5 年ぶりに再開された。全米で最もアカデミックな世界的文化都市であるボストン在住の市民、エリート大学生や留学生の方々に雅楽・舞楽を披露し、紹介する絶好の機会となった。
- ・ 荘厳な演舞に私個人は日本人としてどこか懐かしく畏敬の念を覚え見入ってしまいました。何よりも現地の方々も同じようにジッと見入っておられたのが深く印象的でした。（浜田大成・日本祭り舞台責任者）

② 海外における教育機関における雅楽演奏会、日本文化体験教室

対象事業はない。

3. 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介

① 雅楽演奏会

対象事業はない。

② 雅楽体験教室

【事業名 1：伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業 千葉県庁委託事業】

a. 事業の趣旨：当該事業は千葉県環境生活部県民生活・文化課策定の「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」実施要項に基づき実施した。千葉県内の小中学校の児童・生徒を対象に、邦楽理解の向上と伝統的音楽文化の普及・振興、並びに邦楽における後継者育成に寄与することを趣旨とした。

b. 日 時：令和 6 年 10 月より令和 7 年 1 月

c. 場 所：千葉県内小中学校 8 校（千葉県教育委員会推薦）

- | | |
|---------------|-------------------------|
| ① 柏市立風早北部小学校 | 10 月 11 日（金）13:35～15:10 |
| ② 香取市立東大戸小学校 | 10 月 23 日（水）13:00～14:30 |
| ③ 館山市立北条小学校 | 11 月 7 日（木）13:00～14:40 |
| ④ 鎌ヶ谷市立第四中学校 | 11 月 15 日（金）13:00～15:00 |
| ⑤ 大多喜町立西小学校 | 11 月 25 日（月）13:10～14:50 |
| ⑥ 茂原市立茂原小学校 | 1 月 8 日（水）13:30～15:30 |
| ⑦ 四街道市立四街道中学校 | 1 月 15 日（水）13:15～15:05 |
| ⑧ 市川市立国府台小学校 | 1 月 28 日（火）13:40～15:15 |

d. 内 容：

雅楽鑑賞：「楽器紹介」管絃「平調音取」「越殿楽」

「越殿楽今様」

舞楽鑑賞：舞楽「賀殿急」

舞楽体験：舞楽の説明、舞人の手本、舞振りを体験、曲に合わせて舞人と共に舞う、質疑応答

e. 参加人員：楽人 11 名、舞人 4 名、スタッフ 8 名 計 23 名

f. 反響・感想：

- ・ 体験事業 12 年目となった本年も昨年と同じく千葉県内 8 校を対象に事業が行われた。今年度の鑑賞者数は計 1,554 名、体験者数は計 1,089 名となり、昨年に引き続き多くの生徒に雅楽の紹介・体験を実施する事が出来た。
- ・ 感染症対策やインフルエンザの流行等、感染症への対応については、国や県のガイドライン及び各学校の感染防止対策に準じて対応し円滑に事業を進めることが出来た。
- ・ 今年度は、NHK「BS おかあさんといっしょ」や「おかあさんといっしょ」番組内人形劇の声優として出演されていた、ひなたおさむ氏に、司会及び「越殿楽今様」の歌手としての出演を依頼した。
- ・ 生徒からひなたおさむ氏に対しては「説明がわかりやすかった、聞きやすかった」「テレビで知っていたので驚いた」「力強い歌声でよかった」「越殿楽と今様で違いが感じられて楽しかった」など、好意的な感想や現地での反応が多く見られた。
- ・ 他にも多くの質問や感想も頂戴し、生徒たちが雅楽という馴染みのない音楽に対して積極的に興味をもって取り組んでくれたことが感じられた。
- ・ 生徒の中には、日本以外の国にルーツを持つ生徒や日本文化に対してより馴染みのない学生もあり、それぞれの国と日本の文化を比較してその子なりの感想を伝えてくれる生徒もいた。
- ・ 実際に鑑賞する事で、音楽の授業や音源・映像からは感じられない迫力や各楽器のハーモニーが良かったという感想や感謝の声も多く頂き、雅楽という文化のおもしろさや重要さ、芸術性の高さ、そして文化が伝えられることの重要性を理解していただけた。
- ・ また現地では、保護者や地域の方に対してオープンに事業を開いた学校や、創立記念式や家庭教育学級の一環として、本事業を実施した学校も数校あった。そのため生徒や教職員だけでなく、PTA などの保護者や地域の方たち、自治体の教育・行政関係者など、広い対象が本事業に参加し、それぞれの学校ごとに本事業へ重きを置いている状況が見られた。
- ・ 四街道中学校の体験には、県庁の環境生活部スポーツ・文化局文

化振興課文化振興班の高山班長が初めて来られ、雅楽についてや事業内容についての簡単な説明、ひなたおさむ氏の紹介などをお伝えできた。また高山班長の希望で楽器の写真を近くから撮影された際には、以前は楽器体験を行っていた事などもお伝えした。

- ・今年度のひなたおさむ氏の司会が大変好評であり、来年度も司会をお願いすることで確認された。

【事業名 2：登別中学校雅楽体験教室】

- 事業の趣旨：国内の小中高校の児童・生徒を対象に、雅楽体験教室を行い、日本の伝統文化への理解を促すことを目的とする。今年度は、北海道登別市立登別中学校において実施した。
- 日 時：令和 6 年 9 月 13 日（金）13：15～15：05
- 場 所：登別市立登別中学校
- 対 象：同校生徒及び来賓者、父兄 約 50 名
- 内 容：楽器紹介、管絃「越殿楽」、舞楽「賀殿急」演奏及び舞楽の体験教室
- 派遣人員：楽人 6 名、舞人 1 名 計 7 名
- 反 響：
 - ・小笠原登別市長、教育員会委員長他、同市関係者、生徒父兄の参加があった。
 - ・北海道新聞記者より、井口理事長が取材を受けられ、翌朝同新聞朝刊に記事が掲載された。
 - ・生徒の主な感想：「今回初めて雅楽を鑑賞しました。楽器なども見たことない特徴があるものばかりで、見ていて楽しかったです。日本の古い伝統ということが伝わってきたので、自分も伝統や文化を引き継いで守っていききたいなと思いました。」「今日の雅楽鑑賞会がすごく楽しみでした。実際に聞いて、見てみて体育館全体に響く楽器の音に迫力があっていいなと思いました。音楽の教科書でしか見たことがなかったのでいい機会になりました。」「今日は雅楽を鑑賞して、雅楽の良さがすごく伝わりました。最後に踊りをしましたが難しくて腕も辛くてこれを何分も続けるのがすごいな—と思いました。音もすごくきれいで迫力があって楽しかったです。今日はありがとうございました。」

③ 雅楽研修会

令和 6 年度事業計画書に記載した「禅語を学ぶ会 20 周年記念行事雅楽研修」は、公益目的事業Ⅰの②雅楽に関する講演会に変更する。

4. 管理・広報部門の充実（法人活動）

① 広報活動

- a. Web、情報誌、パンフレット、チラシを媒体とした PR 活動の推進
- b. 賛助会員募集（個人会員）の推進
- c. 年会報（年一回）の作成発行（賛助会員配布用）

② 事務機能の充実

- a. 定款による事務業務の遂行

以 上